

科目名		授業形態	担当教員名	
地域理学療法学総論		講義・演習	小堀 博史	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
現在の保険・医療・福祉の精度や動向の変化は著しく、地域リハビリテーションの地域理学療法分野においても大きく変化している。本講義では諸制度や関連機関との多職種連携を学び、地域理学療法分野に必要な知識の習得と、主に生活期の理学療法士の役割について理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1．地域リハビリテーションと地域理学療法にかかわる知識を習得する。 2．様々な制度を理解し、諸制度下での理学療法について説明できる。 3．生活期の理学療法について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	地域リハビリテーション総論			
2	障害と生活の理解			
3	地域理学療法の視点① 生活期の捉え方			
4	地域理学療法の視点② 生活期のリハビリテーション			
5	地域理学療法の視点③ 生活期におけるニーズ			
6	地域理学療法と制度① 介護保険			
7	地域理学療法と制度② その他の制度（障害者総合支援法）			
8	地域理学療法と制度③ 地域包括ケアシステム			
9	地域理学療法と制度④ 介護サービス 1			
10	地域理学療法と制度⑤ 介護サービス 2 （施設サービス）			
11	地域理学療法の実際① 生活課題			
12	地域理学療法の実際② ケアプラン			
13	地域理学療法の実際③ サービス担当者会議			
14	地域理学療法の実際④ 終末期の考え方			
15	地域理学療法の実際⑤ アドバンス・ケア・プランニング			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	60%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点	30%	授業態度（ワークや発表での積極性を評価する）と発表		
その他	10%	講義録の提出		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載	随時プリントを配布する。必ず講義録をファイルにまとめること。			
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
理学療法学テキスト 地域理学療法学		浅川康吉	メジカルビュー社	
地域リハビリテーション原論		太田仁史	医歯薬出版株式会社	
自由記載				
備考				
・グループでのワークを行います。積極的に参加してください。 ・状況によって進度など変更する場合があります。				